

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 38 号 2019 年 8 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2019 年度 日本分析化学会九州支部
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1
九州大学大学院 薬学研究院
創薬育薬産学官連携分野

支部活動報告

❖ 2019年度 第1回常任幹事会 ❖

2019年6月8日(土)、九州大学 病院キャンパス 薬学部本棟 会議室において日本分析化学会九州支部 2019年度第1回常任幹事会が開催されました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧下さい。

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/index.htm

❖ 第32回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：九州大学大学院工学研究院 森 健

2019年6月1日(土)、九州大学医系キャンパス 総合研究棟 2階 IT ルームにおいて、第32回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。副支部長(加地 範匡 先生・九大院工)のご挨拶に始まり、以下の4名の先生方に、ご講演をいただきました。巴山先生には、パーフルオロアルキル類を用いて、生体分子を高効率に抽出することで、精度の高い分析を行う方法についてご講演いただいた。特にリン酸エステル含有分子に対して、注目して分析を展開しておられ、ヌクレオチドやリン酸化ペプチド、脂質を対象とした分析について、血清の実試料に対する結果を交えてご紹介いただきました。次に、末吉先生により「マイクロスケール × (電気泳動 + バイオアッセイ) = ?」というタイトルで講演が行われました。薬物放出キャピラリーと電気泳動を組み合わせ、ELISAを全自動で行うシステムをご紹介いただきました。参加学生の応答を見ながら、講演を進めていただき、またご自身の研究哲学を押し付けがましくなくご紹介いただき、参加学生をエンカレッジしていただきました。休憩を挟んで、村田先生により、分析化学を実臨床に応用した例を多数、ご紹介いただきました。内視鏡による血流の近赤外イメージングや、MRIによる膵がんのイメージング、質量分析による大腸がんの代謝物イメージングなど、実用性の高い方法をご紹介いただき、分析化学が医療に貢献できることをお示しいただきました。最後

に、中西先生により、近年、注目されているメカノバイオロジーについて、その解明を手助けする分子ツールの開発にご紹介いただきました。さらに、究極に柔らかい表面として、液-液界面上での細胞のふるまいについてもご紹介いただきました。

講演題目ならびに講師

- ・「多フッ素化合物の特性を利用した新しい前処理法」
(福岡大薬) 巴山 忠先生
- ・「マイクロスケール × (電気泳動 + バイオアッセイ) = ?」
(大阪府大院工) 末吉 健志先生
- ・「分析化学の実臨床への展開 ～診断薬と診療機器の開発に向けて～」
(九大先端医療イノベ) 村田 正治先生
- ・「材料を用いる細胞機能の分析と制御」
(物質・材料研究機構) 中西 淳先生

講演終了後、次期2020年(第33回)の春の講演会世話人である高橋 幸奈 先生(九大 I2CNER)と、今夏開催予定の第37回夏季セミナー世話人である田中 充 先生(九大院農)から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には47名、情報交換会には17名が参加しました。情報交換会への学生の参加費を無料にしたところ、例年よりも多くの学生が参加してくれて、講演者の先生方からエンカレッジしてもらっていました。



巴山先生



末吉先生



村田先生



中西先生

❖ 2019 年度 日本分析化学会表彰 ❖

2019年度の日本分析化学会学会賞に九州支部より九州工業大学工学研究院 竹中 繁織 教授が「四本鎖DNA構造を利用した新しい分析法の開発」の業績で選ばれました。

また、学会功労賞には、横山 拓史 九州大学名誉教授が「資源・環境化学分野における分析化学ならびに学会への貢献」の業績で選ばれました。そして、奨励賞には、熊本大学大学院先端科学研究部 勝田 陽介 助教が「核酸を使った生体分子観察システムの開発及びRNA非標準型特殊核酸構造同定システムの開発」

の業績で選ばれました。

今年度は受賞者が多く、九州支部の高いアクティビティが示されました。受賞者の皆様の今後の益々のご活躍を期待しております。

❖ 2019 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、九州大学農学研究院 松井 利郎 教授が 2019 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「食機能の分析化学的究明に関する研究」です。おめでとうございます。

松井先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

❖ 2019 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2019 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の2名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

受賞者・受賞題目

- ・藤 貴弘 君（佐賀大学大学院工学系研究科・博士後期課程2年）
「フッ化アルコール-水混合溶液中のアミノ酸の溶媒和構造の解明」
- ・古庄 仰 君（九州大学大学院薬学府・博士後期課程1年）
「高感度三次元 HPLC 分析法の開発と腎不全関連キラルアミノ酸の血中含量解析」

❖ 第56回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部

期日：2019年7月13日(土)

会場：北九州国際会議場

分析化学関係の依頼講演

- ・吉田 秀幸 先生（福岡大学薬学部）
「ルテニウム錯体化学発光法によるアミン類の分析」
プログラム：
ポスターセッション（分析化学分野 13:40~14:40）
AC-5-001~AC-5-046）まで計46件

他のセッション等については、大会ホームページ (<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) をご覧下さい。

2019 年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の 4 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

- ・平野 一輝 君 (九州工業大学大学院情報工学府)
「培養細胞上での蛍光イメージングに基づいた生理活性ペプチドとレセプター間の相互作用解析系の構築」
- ・柴田 雅之 君 (山口大学大学院創成科学研究科)
「イオン液体中におけるポリエチレングリコール鎖の溶存状態分析と Li 塩添加に伴う構造変化」
- ・嘉村 匠人 君 (熊本大学大学院自然科学研究科)
「Staple 核酸による RNA 高次構造形成誘導を利用した遺伝子機能解析技術の開発」
- ・小野 啓一郎 君 (九州大学大学院工学府)
「酵素反応による膜タンパク質の高感度な検出を目指した蛍光性基質の開発」

❖ 機器分析ワークショップ 2019 in 長崎 ❖

主催：日本分析化学会 九州支部

協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ

日時：令和元年 6 月 28 日 (金) 13:30~16:30

場所：長崎大学薬学部 研修室 (薬学部本館 5F)

【テーマ】

HPLC 分析の前処理法および環境大気測定の高精度迅速化

① ハイブリッド四重極-オービトラップ質量分析計 (Q-ExactiveTM) を用いたタンパク質分析の実例紹介

講師：大山 要 (長崎大学生命医科学域・薬学系准教授)

② 分析対象物質への選択性向上を目指した前処理技術

講師：巴山 忠 (福岡大学薬学部・准教授)

③ 公定法に従った悪臭物質の自動化測定

講師：内垣 真由美 (株)ジェイ・サイエンス・ラボ、第一技術部

④ HPLC による有害性大気汚染物質の測定と動態

解

講師：岸川 直哉 (長崎大学生命医科学域薬学系・准教授)

参加費：無 料

【問合せ及び申込先】

(株)ジェイ・サイエンス西日本 (TEL: 092-611-9161 FAX: 092-611-9165) 担当：川上、松尾

(株)西村商会 (TEL: 092-611-9161 FAX: 092-611-9165) 担当：錦戸、八頭司

❖ 第 37 回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部

期日：2019 年 7 月 26 日 (金) ~ 27 日 (土)

会場：Hotel & Resorts SAGA-KARATSU (佐賀県唐津市)

内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演 1：小川 剛伸 先生

(京都大学大学院農学研究科)

「人工知能を用いた麺の食感分析」

○招待講演 2：園田 英人 先生

(伊万里有田共立病院)

「がん研究と匂い研究の出会い」

○招待講演 3：藤井 翔 先生

(北海道大学大学院理学研究院)

「レーザー誘起マイクロバブルにおける界面化学の探究」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表

○一般ポスター発表：(審査の結果、6 名の方が九州分析化学若手賞 (ポスター賞) に選出されました。)

○総会

○情報・意見交換会

世話人：九州大学大学院農学研究科 田中 充

7 月 26 (金) ~ 27 日 (土) の日程で、第 37 回九州分析化学若手の会夏季セミナーを Hotel & Resorts SAGA-KARATSU にて開催いたしました。今年は、27 研究室/団体から 137 名の参加がありました。

1 日目は、開会式後、3 件の招待講演から始まりました。小川 剛伸先生からは、透明にすることで取得した麺の内部の詳細なグルテン構造を、人工知能を用いて解析することで、その食感 (応力-歪み曲線) を予測する技術について、大変わかりやすく、

興味深いご講演を賜りました。座長は井倉 則之先生（九大院農）にご担当頂きました。次いで、園田 英人先生からは、臨床医としてのがん研究に対する熱意、がんと匂いの関係、さらには、がん探知犬に関する研究をわかりやすくご講演頂きました。座長は田中 充 先生（九大院農）が担当しました。最後に、北海道支部との交流事業として北海道支部からご推薦頂きました藤井 翔先生にご講演頂きました。レーザーにより誘起させた微小界面である泡に着目し、その界面での物理化学的特性とその応用に関しての先端的研究内容をお話し頂きました。座長は、梅木辰也先生（佐賀大理工）にご担当頂きました。3名の先生方からの大変興味深いご講演に、学生からの質問も活発に行われ、大変盛況な講演となりました。

次に、第56回化学関連支部合同九州大会において九州分析化学ポスター賞を受賞された以下の4名の方に模範ポスター発表をして頂きました。座長の先生の進行のもと、活発な議論だけでなく、良いポスター発表をするための工夫についても説明がありました。座長は、勝田 陽介先生（熊大院先端）、金房 純代先生（九大院工）、梅木 辰也先生（佐賀大理工）、末田 慎二先生（九工大院情報工）にご担当頂きました。

○平野 一輝さん

（九州工業大学大学院情報工学研究院）

「培養細胞上での蛍光イメージングに基づいた生理活性ペプチドとレセプター間の相互作用解析系の構築」

○柴田 雅之さん

（山口大学大学院創成科学研究科）

「イオン液体中におけるポリエチレングリコール鎖の溶存状態分析とLi塩添加に伴う構造変化」

○嘉村 匠人さん

（熊本大学大学院先端科学研究部）

「staple 核酸による RNA 高次構造形成誘導を利用した遺伝子機能解析技術の開発」

○小野 啓一郎さん

（九州大学大学院工学研究院）

「酵素反応による膜タンパク質の高感度な検出を目指した蛍光性基質の開発」

模範ポスター発表、休憩の後の夕食では、各研究室の趣向を凝らした愉快的な研究室紹介がありました。また、夕食では、宮崎大学 長野 直樹先生のご尽力



小川 剛伸 先生



園田 英人 先生



藤井 翔 先生

により九州大学 唐津水産研究センター共同研究部門にて開発された「唐津 Q サバ」が提供され、その味わいを参加者全員で分析評価し、大変好評でした。また、佐賀大学農学部長の小林 元太先生ならびに佐賀県醸造組合様のご厚意で、佐賀県の各蔵からの日本酒が提供されました。酒米、精米歩合、麴の違いに起因する数値として表現できない風味の違いを実感でき、こちらも大変好評でした。また夕食後は、夜遅くまでさらに白熱した情報交換会が行われ、大学、学生、社会人の垣根を超えた密な交流がなされ



平野 一輝さん



柴田 雅之さん



嘉村 匠人さん



小野 啓一郎さん

ていました。また、今年も、エルガラボウォーター様からのご厚意により、会場で純水装置による水割をご提供いただきました。会を盛り上げていただきました皆様、ありがとうございました。



エルガラボウォーター 黒木 様

2 日目は、朝食後、一般ポスター発表が行われました。前日の活気そのままに、会場の至るところで活気に溢れるディスカッションが行われました。一般ポスター発表に続いて、九州分析化学奨励賞を受賞された学生による受賞講演を行いました。奨励賞に相応しい完成度の高い発表でした。座長は、巴山 忠先生（福大薬）にご担当頂きました。
○古庄 仰さん（九州大学大学院薬学府創薬育薬産学官連携分野）
「高感度三次元 HPLC 分析法の開発と腎不全関連キラルアミノ酸の血中含量解析」



古庄 仰さん（写真中央、左：浜瀬支部長、右：田中先生）



九州分析化学若手賞受賞者の皆様

（左から 浜瀬支部長、寺田さん、樵田さん、織田さん、工藤さん、高橋さん、Hsieh さん、田中先生）

その後、九州分析化学若手の会総会を開催し、年間行事と会計について夏季セミナー世話人の田中より報告が行われました。

最後に、表彰式が執り行われました。上記の九州分析化学奨励賞、九州分析化学ポスター賞に加え、本夏季セミナー一般ポスター発表から選出される九州分析化学若手賞の表彰が行われました。

本年度の九州分析化学若手賞受賞者は下記の通りです。

○織田剛史さん（九州大学院工）

「HRP の増感反応による膜タンパク質の高感度検出と非特異染色の低減化に向けた蛍光性基質の開発」

○寺田美悠さん（九州大学院工）

「マイクロ流体デバイスによる細胞変形能測定法の開発」

○樵田侑奈さん（九大院生資環）

「分散相液滴径が寒天エマルジョンゲルの物性に及ぼす影響」

○工藤悠暉さん（熊本大院先端）

「DNA サーキットによるシグナル増幅を利用したがん細胞の検出に関する基礎的検討」



九州分析化学ポスター賞受賞者の皆様

○高橋直己さん（熊本大院先端）

「核酸構造的制御による新規遺伝子発現制御技術の開発」

○Chin-Ling Hsieh さん（九大院薬）

「Multi-Dimensional HPLC Determination of Lactate and 3-Hydroxybutyrate Enantiomers and Application to Human Physiological Fluid」

さらに、今年もベスト質問賞を設け、表彰しました。質問時間を大幅にオーバーするほどのたくさん質問が寄せられました。いずれの質問もレベルが高く、頼もしいかぎりでした。九州分析化学若手の会ベスト質問賞受賞者は下記の3名でした。

○宮崎 葉さん（九州大学院理）

○清野奨太さん（長崎大院医歯薬）

○工藤悠暉さん（熊本大院先端）

本年度の夏季セミナーの運営に際して、九州支部からの助成に加え、日本分析化学会全国若手交流会、唐津市、加藤科学振興会、日本文具財団及び多数の企業から助成金や広告費としてご支援して頂きまし



九州分析化学若手の会ベスト質問賞受賞者の皆様

（左から、浜瀬支部長、宮崎さん、清野さん、工藤さん、田中先生）
た。また、会場をご提供頂きました Hotel & Resorts SAGA-KARATSU 様には、会場のみならず細部に渡るまでの本当に丁寧なサポートを賜りました。本セミナーの開催にご協力を賜りましたすべての方々に対して、この場をお借りして衷心より御礼申し上げます。2 日間に渡るセミナーを、無事に開催することができ、また大過なく終わることができました。講演者、座長の先生方ならびにご参加いただいた皆様、そして運営にご協力いただきました多くの方々へ深く感謝の意を表します。来年は、鹿児島大学の満塩 勝先生がお世話をされ、温泉ホテル 中原別荘（鹿児島県鹿児島市）で開催される予定です。また多くの方にご参加いただきますよう御願いたします。【九州大学大学院農学研究院・田中 充】



2019年7月26-27日 第37回九州分析化学若手の会夏季セミナー 於 HOTEL & RESORTS SAGA KARATSU

❖ 第 60 回 分析化学講習会 ❖

主催 日本分析化学会九州支部

共催 福岡市, 九州先端科学技術研究所 (ISIT), 九州大学学術研究都市推進機構, 日本化学会九州支部, 電気化学会九州支部, 日本薬学会九州支部, 日本食品科学工学会西日本支部, 日本農芸化学会西日本支部, 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部, 日本臨床化学会九州支部, 日本水環境学会九州支部, 化学工学会九州支部, クロマトグラフィー科学会, 福岡県環境計量証明事業協会

期日 8月6日(火) ~ 9日(金)

会場 九州大学伊都キャンパス (〒819-0395 福岡市西区元岡 744)

九州大学馬出キャンパス (〒812-0180 福岡市東区馬出 3-1-1)

福岡大学七隈キャンパス (〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1)

福岡市産学連携交流センター (〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1)

講義と実習

1. ガスクロマトグラフィー (GC) : 1日コース (6日, 7日とも同一の内容)

8月6・7日 (9:00~17:00) 於九州大学伊都キャンパス

講師 : (熊本県立大) 白土 英樹, (九大院農) 井倉 則之

- A. 化合物の同定 (保持指標, マススペクトル)
- B. 定量分析 (内標準法)
- C. 試料導入法 (スプリット法, スプリットレス法)
- D. 香気成分のサンプリング (固相マイクロ抽出法)
- E. 食品の香気成分分析 (GC-MS 法)

2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC) : 2日コース

8月8~9日 (9:00~17:00) 於九州大学馬出キャンパス

講師 : (九大院薬) 浜瀬 健司, (福岡大薬) 巴山 忠

- A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析 (医薬品・化粧品分析)
- B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス
- C. HPLC 用超純水製造装置

D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析
E. AI 支援による自動 HPLC メソッド開発システムの紹介

F. 逆相モード, HILIC モードを用いた低分子化合物の分離~汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択~

G. 高極性化合物分離への Best 2nd Choice

H. イオンクロマトグラフィーによる水, 大気などの環境分析ならびに各種品質評価

I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析

J. 円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法 (ICP-MS) : 1日コース (6日, 7日とも同一の内容)

8月6・7日 (9:30~17:00) 於九州大学伊都キャンパス

講師 : (九環協) 天日 美薫

- A. 固相抽出法による模擬海水試料の前処理
- B. 固相抽出の実習 (工業廃水 : Cr(IV)分子認識固相)
- C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス
- D. ICP 質量分析装置の概要とその原理
- E. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス

4. X線分析 (X-ray) : 1日コース

8月9日 (9:30~17:00) 於福岡大学七隈キャンパス

講師 : (福岡大理) 栗崎 敏, (福岡大理) 市川 慎太郎

A. X線分析 (回折, 蛍光) の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. 電子顕微鏡分析 (SEM/TEM) : 1日コース

8月8日 (9:30~17:00) 於福岡市産学連携交流センター

講師 : (九大院理) 宇都宮 聡

A. 電子顕微鏡分析 (SEM, TEM) の基礎に関する講義と SEM による試料観察

6. 核磁気共鳴分光法 (NMR) : 1日コース

8月6日 (9:30~17:00) 於福岡市産学連携交流センター

講師：(九大院理) 松森 信明, (福岡教育大) 宮崎 義信

- A. NMR の基礎と溶液 NMR の測定法
- B. 有機物質の構造解析
- C. NMR の無機化学・分析化学への応用

使用機器 日本分光, 日立ハイテックサイエンス, サーマフィッシャーサイエンティフィック (ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, 島津製作所, 大阪ソーダ, 日本ウォーターズ, シーエルサイエンス, エムエス機器, オルガノ, メルクの提供による最新機器

参加費 主催・共催会員 35,000 円, 会員外 45,000 円, 学生 15,000 円

問合先

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1 番地
佐賀大学理工学部内 第 60 回分析化学講習会事務局

[E-mail : kyushu_bunkou@jsac.jp]

実行委員長 高椋 利幸
庶務 梅木 辰也
会計 真瀬田 幹生

第 60 回分析化学講習会が 8 月 6 日から 8 月 9 日にかけて, 九州大学伊都キャンパス, 九州大学馬出キャンパス, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡市産学連携交流センターの 4 会場で開催されました。受講生は 61 名, 4 日間で延べ 160 名となり, 遠方では札幌や名古屋からもご参加いただきました。

九州大学伊都キャンパスでは, 初日と2日目に, GCコースとICP-MSコースが開講されました。両コースとも2日間同じプログラムで開催されました。GCコースは毎年, 参加希望者が多く, 今年度は2日間開催を試みました。GCコースは白土講師(熊本県立大)と井倉講師(九大院農)にご担当いただき, 導入法の異なる分析などが行われました。参加希望者が多く少し手狭でしたが, 受講生にとっては様々なGC分析を体験することができたと思います。ICP-MSコースは天日講師(九環協)にご担当いただき, 海水中における重金属のICP-MS測定やマイクロピ

ペッターの精度管理やメンテナンスなどの実習が行われました。

九州大学馬出キャンパスでは, 3日目と4日目に, 浜瀬講師(九大院薬)と巴山講師(福岡大薬)によるHPLCコースが開講されました。当日に1名のキャンセルは出ましたが, 最終的に45名の参加者があり, 10テーマについて, 2日間かけて実習が行われました。講習では, 各テーマで基礎と企業によるデモ・実習とを組み合わされ, レベルの異なった受講者にも充実した内容だったと思います。講習終了後, 修了試験が行われ, 合格者はHPLC分析士初段を取得することができました。また, HPLCコースのランチタイムでは, それぞれメルク(株)とオルガノ(株)によるランチョンセミナーが開催されました。

福岡大学七隈キャンパスでは, 4日目に, 栗崎講師(福岡大理)と市川講師(福岡大理)によるX-rayコースが開講されました。固体試料の前処理や試料調製, 測定の注意点に関する解説の後, X線回折による結晶解析や蛍光X線分析による粉末試料中各種元素の定量が行われました。

福岡市産学連携交流センターでは, 初日に松森講師(九大院理)と宮崎講師(福岡教育大)によるNMRコース, 3日目に宇都宮講師(九大院理)によるSEM/TEMコースが開講されました。NMRコースでは未知試料についてスペクトルを測定し, その結果から構造を推定する内容でした。SEM/TEMコースでは, マンツーマンの指導で受講者が装置をひとりずつ操作する内容でした。両コースとも, 比較的少人数の受講者でしたが, セミナー室による講義と実機を使っての実習が密度濃く行われ, 受講生から時間を超過するほどの質問もありました。

昨年度から開催形態が変わりましたが, 第60回分析化学講習会もなんとか無事に終えることができました。これもご協力いただきました幹事会社様, 協力会社様, ご助言, ご助力をいただきました九州支部の先生方皆様のご支援のおかげです。この場をお借りして, 厚く御礼申し上げます。初日(8月6日)には台風8号の影響を受け, その日の開催が危ぶまれましたが, 講師の先生方ならびに企業や学生などの指導員皆様のご協力により, 開催することができました。一方で, 自然災害が起きた場合の開催に関する情報発信などの課題があることもわかり, 今後

改善を図ってまいりたいと考えております。最後になりましたが、ご参加いただいた受講生の皆様にもお礼申し上げます。この講習会で得られた知識や経験が各職場でのお仕事の一助になることを祈念しております。【佐賀大学理工学部・高椋利幸】



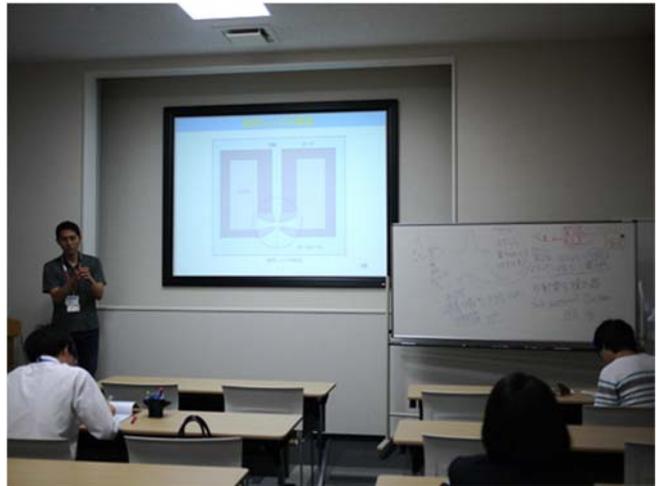
GCコース実習の様子



HPLCコース実習の様子



ICP-MSコース実習の様子



SEM/TEMコース講義の様子



行事案内

❖ 日本分析化学会第68年会 ❖

期日：2019年9月11日（水）～13日（金）
会場：千葉大学西千葉キャンパス東北大学川内北キャンパス（千葉市）

開催日程：

9月11日（水）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，産業界シンポジウム，産官学交流カフェ，ランチョンセミナー，機器展示会

9月12日（木）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，産業界シンポジウム，学会賞等授賞式，学会賞受賞講演，懇親会，ランチョンセミナー，機器展示会

9月13日（金）：

一般講演（口頭，ポスター），若手講演（ポスター），テクノレビュー講演（口頭，ポスター），受賞講演，研究懇談会講演，特別シンポジウム，ランチョンセミナー，機器展示会

【特別シンポジウム】

日時：9月11日（水）～13日（金）

1. 生命現象における分析化学
2. 社会の公正と安全・安心に貢献する分析化学
3. 分析科学と核酸科学 – 相互刺激による相乗的展開 –
4. 講義「分析化学」を魅力的にするには？
5. プラズマ質量分析計によるナノ粒子の高感度・高速計測
6. タンパク質を素材とする分析ツールの進化デザイン
7. 分析化学のプレゼンスを拡大するキャリアビルディング

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/68/special_lecture.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/68/special_lecture.html)

【産業界シンポジウム】

企業における未来志向の最先端分析解析技術

日時：9月11日（水）13時30分～16時30分

1. 分析部門における産学連携/社外大型設備の活用
2. AI, MI 時代への期待と課題 II – 企業におけるコンピュータサイエンスの現状 –

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/68/industry_lecture.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/68/industry_lecture.html)

【第5回アジア分析科学シンポジウム】

日時：9月11日（水）

詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/68/meeting.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/68/meeting.html)

問合先：

日本分析化学会第68年会実行委員会事務局

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学大学院工学研究院共生応用化学コース藤浪研究室

実行委員長 藤浪真紀

E-mail：jsac68nenkai@gmail.com

会場アクセス等詳しくは下記ウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/68/index.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/68/index.html)

❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2019年度の新しい試みとして、これまで幹事に合わせて同日中に開催してきた支部講演会・見学会のうち、見学会をより発展させるべく、産学連携講演会・見学会として講演会・幹事会とは別日に開催することになりました。2019年度産学連携講演会・見学会は、10月17日（木）に、坂元醸造福山工場にて開催の予定です。ここでは、黒酢に関する講演会と醸造施設の見学を予定しています。また、2019年度支部講演会・幹事会は、11月15日（金）に九州大学医系キャンパスにて開催の予定です。講演会では、九州大学の松井利郎教授による九州分析化学会賞受賞講演と、佐賀大学の藤貴弘君による九州分析化学会奨励賞受賞講演が行われます。

～坂元醸造福山工場～

坂元醸造株式会社のくろずは、1800年代の江戸時代後期に、福山（鹿児島県霧島市福山町）で始まった、世界でも類を見ない独特の製法で造られています。くろず造りの製法は気候風土に根ざしたもので、

造る場所は蔵でもなく工場でもなく“壺畑”であり、農作業のように野天で行い、農作物を作るように一壺ずつ愛情を込めて造られています。



坂元醸造福山工場[HPより転載]

事務局より

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

❖ 編集後記 ❖

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。次の41号は2020年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。この夏は、いつになく長い梅雨が明けたと思ったら猛暑、その後は豪雨と、九州支部の皆様の中にも大きな被害を受けられた方もおられるのではないかと思います。被災された皆様にお見舞い申し上げます。分析化学に携わる者として、気候変動・環境問題に対する「分析」結果はもちろんのこと、その「解決」策をも勇気を持って社会に提言していく立場にあることを真摯に受け止める必要があるのではないのでしょうか。【副支部長・加地】





2019 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1
九州大学大学院 薬学研究院
創薬育薬産学官連携分野

支部長	浜瀬 健司（九州大学大学院薬学研究院） hamase@phar.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6598
副支部長	加地 範匡（九州大学大学院工学研究院） kaji@cstf.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2883
副支部長	長野 正信（坂元醸造株式会社） nagano@kurozu.co.jp / 099-258-1777
庶務幹事	巴山 忠（福岡大学薬学部） thayama@fukuoka-u.ac.jp / 092-871-6631
会計幹事	中園 学（九州大学大学院薬学研究院） nakazono@phar.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6597